

## 第4学年1組 図画工作科学習指導案

平成27年11月7日(土) 第5校時

児童数 11名

指導者 田島 達也

場所 4年1組教室

### 1 題材名 ほると出てくるふしぎな絵

A 表現(2)ア、イ、ウ

B 鑑賞(1)ア、イ

### 2 題材について

#### (1) 児童の実態

本学級の児童は、アンケートの結果、「図工が好きである」と全員が回答している。好きな理由としては「道具が上手に使えるから・アイデアが浮かぶから」が多く挙げられた。児童は4年生になり『絵の具で遊んで「自分いろいろがみ」』、『木々をみつめて』の題材で、自分の思いを絵に表す活動をしてきている。その際、題材の初めにプレ題材を行い、豊富な材料・技法を体験できる時間を設けてから、本番に取り組む活動をしたことで、自分の表したいことに合わせて材料や用具を選ぶことができるようになってきている。また、鑑賞の時間をどの児童も楽しみにしていて、友達の作品のよいところを探すことが好きである。片付けの際には、協力して時間内に終わるように取り組んできている。

#### (2) 題材について

本題材は刷りの楽しさから思いついたことを、彫りを工夫して木版画に表すことを通して、自分らしい造形的な表現を追求したり、発見したりすることをねらっている。ここでは、平らな版木に3~4色のインクをつけて刷った紙から想像を広げ、版木の裏面に彫刻刀で絵を彫り、あらかじめ3~4色で刷った紙を重ねて刷って、思いを表現する題材である。

#### (3) 本題材を指導するに当たって

指導に当たっては、児童が彫刻刀を初めて扱うので、安全指導を徹底したり、場の設定を工夫したりすることで活動がスムーズに流れるようにしていく。また、B4の1/4サイズの版木で彫りや刷りを実際に行うプレ題材を用意することで、材料の特徴や道具の使い方を児童が体験できる時間を設け、道具を上手に扱えるようにしたり、アイデアやイメージが浮かびやすくなりしていく。

鑑賞に関しては、創意工夫したことを互いに紹介し合う場面を適時設定し、作品づくりへの意欲を刺激したり、表現を広げさせたりするなど、彫りや刷りの楽しさや見る楽しさを味わわせる。

### 3 研修主題との関わり

**研究主題 「感性を働かせ、自ら学び、伝え合う子の育成」**

副題 図画工作科における児童の思考力・判断力・表現力を育む指導方法の工夫

仮説1 「導入」の工夫や「展開」において豊富な材料・技法を体験させることにより、児童は感性を働かせ、自ら学ぶことができるであろう。

手立て

- ①教科書を効果的に活用して、課題をわかりやすくおさえられるように工夫し、興味・関心を高め、児童が活動の見通しを持てるようにする。

- ②導入時は題材の最初の時間は15分以内、その他は5分以内とし、製作の時間を十分に確保する。
- ③「展開」において「プレ題材」を実施し、B4の1/4サイズの版木で彫刻刀による彫りやバレンを使った刷りを体験させ、彫刻刀の使い方や安全指導、刷りの際のインクの量やバレンの使い方を指導する。

仮説2 作品掲示及び「まとめ」の工夫や「展開」において個に応じた支援を行うことにより、児童は感性を働かせ伝え合う力を高めることができるであろう。

手立て

- ①活動の過程で鑑賞することで、互いの成果を学び合う機会を増やす。
- ②意図的な言葉かけをすることで、児童の思いを生かす支援をする。
- ③協力して時間内に片付けさせる。
- ④作品提示の工夫をする。

※「4つの実践と3減運動」との関わり

- ・授業中のあいさつ、返事の励行
- ・鑑賞での友達との認め合い

4 目標及び評価規準

(1) 目標

刷る楽しさから思いついたことを工夫して木版に表すことを通して自分らしい造形的な表現を追求したり発見したりする。

(2) 本題材における〔共通事項〕

彫ると出てくる形や刷り重ねる色の組合せなどを試しながら、それらがつくり出す形や色の感じをとらえ、自分のイメージをもつ。

(3) 本題材における評価規準〔◆「努力を要する」と判断される状況(C)の児童への支援〕

※アンダーラインは〔共通事項〕に関連した内容を示す

造形への関心・意欲・態度	発想や想像の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
インクをつけて刷ったり、版木を彫刻刀で彫ったりする楽しさを味わっている。	彫りや刷りによる形や色の変化を考え、発想・構想を広げようとしている。	彫りや刷りなど、いろいろ試しながら効果的に表している。	友達の表したかったことや彫りや刷りのよさを味わっている。
◆同じ彫刻刀しか使っていない児童や、同じ彫り方しかしていない児童には、対話をしながら、他の方法にも関心がむくようにする。	◆個別に対応して、対話をしながら発想や構想を膨らませたり、プレ題材で経験したことを想起させたりする。	◆個別に対応し、彫刻刀の種類による線の違いを考えさせたりプレ題材で経験したことを想起させたりする。	◆個別に対応し、対話をしながら、彫りや刷りのよさを味わえるように支援していく。

5 指導計画・評価計画と評価の計画 (6時間扱い) ※教マークは教科書を活用する場面

時間	学習活動	関	発	創	鑑	評価方法
①	提案1：どんな絵がでてくる？ ほって！すって！楽しもう！！	○				<u>関</u> 行動観察、発言、表情

	○参考作品を見る。【教】 ○プレ題材を体験する。					
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">           提案2：どんな色の絵にしようかな？ すって思いを広げよう！！         </div> ○参考作品を見る。【教】 ○インクの量や色の重ね方を工夫しながら表現する。		○		【発】行動観察、発言、表情	
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">           提案3：どんなほり方にしようかな？ 彫刻刀で思いを広げよう！         </div> ○参考作品を見る。【教】 ○下紙の色や形から想像を広げ、版木の裏に彫刻刀で彫り、形を表現する。		○	○	【発】行動観察、発言、表情 【創】行動観察、発言、表情	
4						
5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">           提案4：さあ、すって完成だ！ どの色が合うかな？         </div> ○参考作品を見る。【教】 ○重ねるインクの色を試しながら刷る。			○	○	【創】行動観察、発言、表情 【鑑】行動観察、発言、表情 いいねカード(鑑賞カード)
6	○台紙に貼り、工夫したことや表したかったことを鑑賞カードに書く。 ○友達で、よいと思ったところをいいねカードに書いて渡す。					

6 本時の学習 (本時 1 / 6 時)

(1) 目標

- ・版木を彫刻刀で彫ったり、インクをつけて刷ったりする楽しさを味わう。【関】

(2) 準備

- 教師 教科書、版木 (B4)、版画用紙 (B4)、版木 (B4の1/4サイズ)、版画用紙 (B4の1/4サイズ)、ばれん、ドライヤー、彫刻刀、滑り止めネット、ローラー、インク、アクリル絵の具 (蛍光カラー)、練り板、新聞紙、雑巾
- 児童 教科書


(3) 展開

時間	学習活動	学習内容	○指導上の留意点 (配慮・手立て) ◎評価 [共] 共通事項に係る内容 ◇十分満足できる状況 ◆努力を要する児童への手立て
10分	※【教】マークは教科書を活用する場面		
導入	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;">           提案1：      どんな絵がでてくる？ ほって！すって！楽しもう！！         </div>		

<p>導入 10分</p>	<p>1 参考作品を見ながら気付いたことや考えたことを話し合う。※<b>教</b> 【仮説1手立て①】 2 見通しをもつ 【仮説1手立て②】</p>	<p>○彫刻刀の使い方</p> <div data-bbox="459 416 855 607" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な持ち方</li> <li>・安全な方向への彫り方</li> <li>・安全な片付け方</li> </ul> </div>	<p>○題材と本時の流れを黒板に掲示する。 ○教科書の作品のよさや美しさに触れさせ、本題材への興味・関心を高めさせる。 ○児童を集め教師が実演する。 ○彫刻刀の使い方や安全面を指導する。 ・持ち方を教師が実演し、児童が理解できるようにする。 ・資料を提示して理解を深める。 ・彫る方向が自分から遠ざかる方に彫るように教師が実演して児童に理解させる。また、版木を回して、方向を変える事も合わせて指導する。 ・使用しない彫刻刀は机の上に置いたままにせず必ずケースにしまうように指導する。 ○丸刀、三角刀、平刀、切り出し刀を使った時の線の違いや線彫りと面彫りをした時の違いを教師が実演して児童に理解させる。また、資料を提示して理解を深める。</p>
<p>展開 25分</p>	<p>3 プレ題材を体験する。 (1) 彫る 【仮説1手立て③】  (2) 刷る 【仮説1手立て③】  4 鑑賞をする。</p>	<p>○彫り</p> <div data-bbox="480 1111 847 1301" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・彫刻刀の種類による線の違い</li> <li>・線彫りと面彫りの違い</li> </ul> </div> <p>○刷り</p> <div data-bbox="485 1420 855 1518" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色の重なり</li> </ul> </div>	<p>○児童を集めて刷る活動を教師が実演する。 ・下紙(1/4サイズ)は教師が事前に準備しておいたものを使用する。 ・インク、練りべら、練り板、ローラー、バレンの使い方を指導する。 ・色による変化を体験させるため、インクの黒と白を準備し、濃淡のインクの違いを味わわせる。  ○鑑賞の際は、彫刻刀の種類による線の違いや線彫りや面彫りの違いを楽しむとともに下紙の色との重なりも楽しむようにする。 ◎版木を彫刻刀で彫ったり、インクをつけて刷ったりする楽しさを味わっている。</p>

		<p>◇彫りや刷りの体験から、次時の学習の見通しをもっている。</p> <p>◆同じ彫刻刀しか使っていない児童や、同じ彫り方しかしていない児童には、対話しながら、他の方法にも関心がいくようにする。</p> <p>○形から自分のイメージをもつことができるようにする。〔共〕</p>
まとめ 10分	5片付けをする。 【仮説2手立て③】	<p>○残ったインクは練りべらで新聞紙にふき取り、ビニール袋に捨てるように指導する。</p> <p>○練り板は石鹼とスポンジで洗わせる。</p> <p>○刷った版木と作品は、教室後ろのロッカーに置かせる。</p> <p>○協力して時間内に片付けさせる。</p>

7 板書計画



ほると出てくるふしぎな絵

学習計画表		
11/7	①	どんな絵がでてくる？ ほって！すって！楽しもう！！
11/11	2	どんな色の絵にしようかな？ すって思いを広げよう！！
11/17	3 4	どんなほり方にしようかな？ 彫刻刀で思いを広げよう！
11/24	5 6	さあ、すって完成だ！ どの色が合うかな？

どんな絵がでてくる？  
ほって！すって！楽しもう！

彫り

- ・ 彫刻刀の種類による線の違いを体験する
- ・ 線彫りと面彫りの違いを体験する

刷り

- ・ 色の重なりを体験する

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 持ち方</li> <li>・ 方向</li> <li>・ 片付け方</li> </ul>	<p>写真 掲示</p>
---	------------------

- ・ 丸刀、三角刀、平刀、切り出し刀の線の違いがわかる写真を掲示

8 場の設定

